

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/12/19号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

CPI&FOMC終わり今年も終了。1800ドル維持か？

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週は2022年最後の重要な週でした。CPIとそれに続く12月のFOMCという今マーケットで最も注目されている二大イベントと言ってよいでしょう。CPIは7.3%という市場予想に対して、7.1%とインフレが少し治まったという数字になり、ゴールドはこれを受けて1788ドルから一時1824ドル手前まで36ドルの急騰。長期金利は20bp下げました。これはまさにマーケットの待っていたと言っていい数字であり、株価も暗号資産もいわゆるリスクアセットが大きく上昇しました。しかし、翌日のFOMCでは、0.5%の利上げと利上げ幅の縮小は市場予想通りでしたが、理事の来年2023年末の金利予想は、5.1%と、来年一年にわたって非常に高いレベルが続くという見方が示され、パウエル議長はCPIが下がってきていることを評価しながらも、インフレが持続的に低下していることを確信するのは、さらに多くの証拠が必要であるとして、2023年のうちは利下げに転じることはないとしています。つまり金利が高い状態は長い間続くとFRBはみており、しかしその割にはゴールドは1800ドルを維持したため、意外としっかりと驚きましたが、FOMCに続いた木曜日のアジア時間帯からじわじわとゴールドは下落。マーケットはこの「高金利の長期化」を時間をかけて消化していったようです。一日かけてゴールドは1775ドル近辺まで下げました。しかし、そこで、長期金利やドルの上昇にもかかわらずゴールドは支えられました。その後のマーケットではここを下にブレイクすることもなく、結局買戻しも入ったようで、1792ドルまで上昇して一週間が終わりました。おそらく今年の実質的なマーケットはほぼ今週で終わり。欧米はクリスマス休暇に突入、新年までかえて来ないトレーダーも多いです。高金利の下でゴールドがどうなるかが来年の注目点ですが、不況がどんな形をとるのか、それによってFRBの金利政策がどうなりか、に尽きるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「ベトナムゴールド市場オープンへ」

筆者が商社や銀行でゴールドのトレーディングをしていたころから、アジアのゴールド市場ではベトナムの影響力は無視できないものでしたが、ある時から政府がすべてをコントロールすることになり、それまでの盛り上がりがうそのようになってしまった記憶があります。Metals Focusのレポートによれば、それがようやく2023年にもベトナムのゴールド市場がオープンになりそうだということだ。市場開設の時期は2023年半ばで、国内と輸出向けの両方を扱うゴールド宝飾品製造業者らは、何らかの認可制度あるいは数量割り当て制度のもとでゴールドの自由な輸入が許される可能性がある、とのことだ。ベトナム市場は現在、個人投資では東アジア第2位、世界では第8位、宝飾品では東アジア第6位、世界では第21位の市場である。この自由化の動きが将来の需要にどのような影響を及ぼすのか、今後注目に値するだろう。

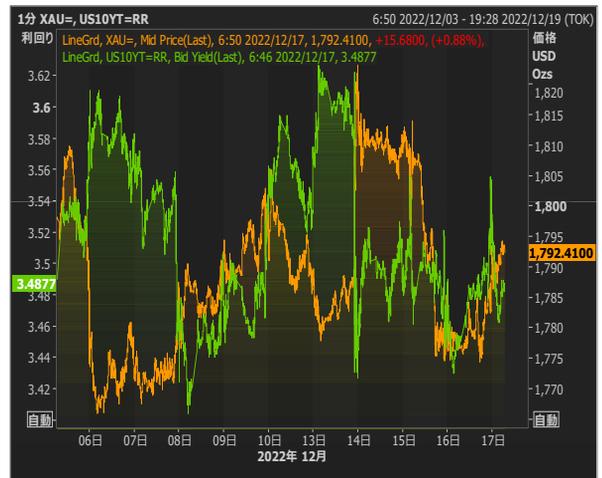
ベトナムのゴールド需要



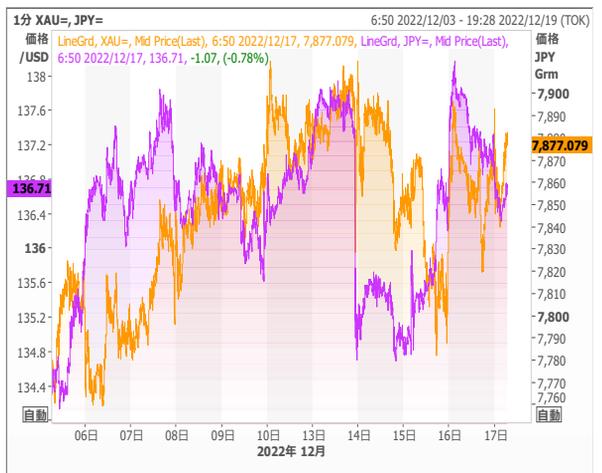
資料 MetalsFocus



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

